

円卓会議の所掌事務については、①中小企業振興施策の推進に関する審議、調査及び研究に関すること ②振興施策の提案及び検証に関すること ③その他、市長が必要と認める事項に関することの3つとなる。

組 織

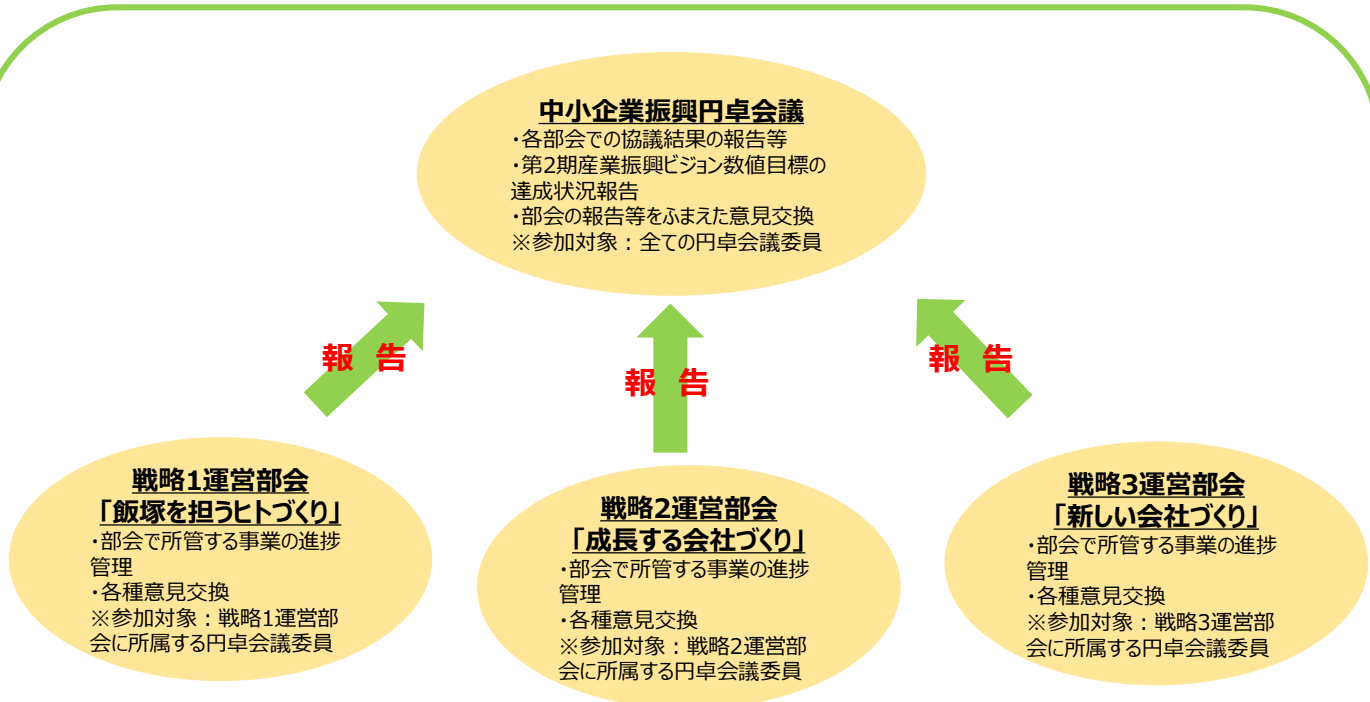
(設置規則第3条)

- ◆円卓会議は、条例第12条第1項に定める者（中小企業者等、関係団体、学識経験者、金融機関、消費者等）のうちから、市長が選任する委員15人以内をもって組織する。
- ◆円卓会議は、必要に応じて小委員会を設置することができる。 ※小委員会を運営部会と呼び、現在、3つの運営部会を設置している。
- ◆円卓会議委員の氏名・所属・役職について別紙参照

運営部会

- ◆現在、3つの運営部会を設置しており、部会の名称等は以下のとおり。
- 戦略1運営部会：飯塚を担うヒトづくり～企業、教育機関、行政等の連携を通じて、飯塚の産業を担うヒトづくりを行います。
- 戦略2運営部会：成長する会社づくり～飯塚で活躍する企業を支援することで、成長する会社づくりを行います。
- 戦略3運営部会：新しい会社づくり～創業環境整備や企業進出促進を通じて、飯塚の新しい会社づくりを行います。
- ◆戦略1運営部会：飯塚を担うヒトづくりでは、「市内企業の雇用促進」「就職促進」「人材育成」の施策の柱で29の事業の進捗を管理。関係部署は、産学振興課、商工観光課、国際政策課の3つ。
- ◆戦略2運営部会：成長する会社づくりでは、「新規事業創出・事業拡大・第二創業（企業の新陳代謝）の促進」「生産性向上」「産業間・企業間の連携促進」の施策の柱で23の事業の進捗を管理。関係部署は、産学振興課、企業誘致推進課、特産品振興・ふるさと応援課、商工観光課、国際政策課の5つ。
- ◆戦略3運営部会：新しい会社づくりでは、「創業・起業促進」「企業誘致」の施策の柱で10の事業の進捗を管理。関係部署は、産学振興課、商工観光課、企業誘致推進課の3つ。

円卓会議と運営部会の関係性



- ◆円卓会議開催前にそれぞれの運営部会を開催する。
- ◆運営部会での意見を取りまとめて円卓会議において報告を行う。